

◎ 今月のいいね



＼ びば (美場) : 万歳 /

11月26日出ピュアプラザ 調理中の様子

■ 開設のきっかけなど

平成26年から、月に3回、町内の子どもたちを対象に行っている学習会(学習サポート)の中で、子どもたちから「みんなで一緒にご飯を食べて、お祭りみたいなイベントをやれるといいよね」との発言をきっかけに、「子どもたちの交流拠点を作ろう」という地域の方たちの声もあり、町内で関心のある方や志のある方、高校生ボランティアの方などとともに、大人300円、子ども無料の「みんなの食堂 - 笑顔のびば食堂 -」を昨年9月に開設しました。新型コロナの影響により5か月間中止した期間もありましたが、今年5月に再開し、多いときには1日80人以上の方が訪れます。



NPO法人ワーカーズコープ 苫小牧まちづくり地域福祉事業所 所長 堀川 紅美さん

■ 今後に向けて

多くの方が楽しんで食事をできる機会を通して、地域ボランティアのひとり一人が主体者となって力を発揮し、活躍できる場としていきたいです。

11月26日出の献立

五目ごはん

具材たっぷり、味や彩り、栄養バランス満点のごはん。



サケは骨抜きし、丁寧に調理。

しゃけ汁

岡崎さん提供の日高ブランドサケ銀盃を使用。

みんなの食堂 - 笑顔のびば食堂 -

町内有志や高校生ボランティアなどが、NPO法人ワーカーズコープ協力のもと、大人も子どもも食事を楽しむ場所として、誰もが来られる食堂を、月1回、いずれかの土曜日に公民館などで開設しています。



■ ボランティアの方の紹介 ※一部の方のみ紹介



水産会社経営 岡崎 勝義さん(静内御幸町)
 海産物や野菜などの食材の無償提供のほか、調理などを担当

子どもの笑顔を見ると幸せになる。ただ、それだけです。



主婦 山本 とめ子さん(静内緑町)
 調理や配膳などを担当

小学生に「おいしかったよ、今度何つくるの、また行くよ」と道端で大きな声を掛けてもらい、とてもうれしかったです。子どもの喜んでいる姿が一番です。



主婦 田中 朋子さん(静内緑町)
 調理や配膳などを担当

教員をしていたころから「町内にこういう場所があるといいなあ」とずっと思っていました。新聞の掲載記事を見て、参加させていただきました。



高校生 櫻井 正斗さん(静内農業高校) ※写真中央
 三上 歩果さん(静内高校) ※写真左
 中道 沙弥さん(静内高校) ※写真右

調理や子どもの遊び場でのサポートなどを担当

地域の人と関わりが持てるので、とても良い機会です。

幼い子と遊び、逆に元気をもらっています。毎回楽しいです!!

※1~非営利の社会貢献の協同組合。まちづくり地域再生・生涯活動支援・学童保育・学童クラブ・保育園・高齢者障がい者福祉のほか、フードバンク事業などを行っています。